

## 「ふるさと納税」返礼品協力事業者を募集します

まちの価値向上や魅力を積極的に伝え、本町を応援していただける方を増やすため、更に返礼品を充実させるため協力事業者を募集します。

返礼品はモノだけではなく、宿泊・体験などのサービスも可能ですが、応募条件があります。詳しくは町公式ホームページをご覧ください。ふるさと納税推進係まで問い合わせください。

応募にあたっては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、町公式ホームページから「応募用紙」ダウンロードし、メールで申請していただくようお願いします。ダウンロードができない場合は、下記の配布場所にある「応募用紙」に記入のうえ、まちづくり政策課へ提出してください。ご協力をお願いします。



- 応募用紙配布場所 役場まちづくり政策課、川湯支所、摩周湖観光協会
- 応募受付期限・場所 6月25日(木) 正午までにメールで送信してください。  
送信先メールアドレス/ furusato\_teshikaga@town.teshikaga.hokkaido.jp
- ※「応募用紙」を持参される場合は、役場まちづくり政策課まで提出してください。

※採用の可否は「ふるさと納税返礼品審査会」で決定します。  
※既に返礼品協力事業者になられている方は改めての応募は不要です。ただし、返礼品を変更・追加される場合は変更・追加分の応募をお願いします。

問い合わせ先/役場まちづくり政策課ふるさと納税推進係 ☎ 4 8 2 - 2 9 2 3

## ご存じですか? 地域農業を守り育てる 中山間地域等直接支払制度

中山間地域等直接支払制度は、農業生産条件が不利な中山間地域で耕作する農業者が参加する「集落」に対して国、道、町がそれぞれの負担率で直接交付金を支払い、農業生産活動などを推進するためのものです。山間部などの農地・農村が有する水源かん養機能や洪水防止機能などの多面的機能によって、下流域の皆さんの生産活動や豊かな暮らしが守られています。しかし平地に比べて農業生産条件が不利なことから担い手の減少が進み、耕作放棄の増加が懸念され、多面的機能が失われることが課題となっています。中山間地域での適切な農業生産活動が継続されるように支援することによって、農村の持つ多面的機能の確保が図られます。

平成12年度から実施されている本制度は、令和2年度から第5期対策が始まります。交付金は協定に参加する農業者の皆さんによる話し合いに基づき、地域農業の継続や多面的機能の増進を図るためのさまざまな活動に充てられています。令和元年度に行われた共同取組活動の内容を皆さんにお知らせします。

令和元年度の 取り組み状況	集落名/弟子屈町弟子屈集落	協定参加者数/農家123戸
	交付対象面積/75,675,164㎡	交付金総額/1億1,351万2,746円(交付単価1.5円/㎡)
	共同取組活動費/8,791万5,688円	個人配分/2,559万7,058円

### 【実施した主な共同取組活動】

- 良質粗飼料と収量向上のための草地改良費助成(4,722万1,121円)
- 地場産PR、町民還元牛乳の配布(57万716円)
- 農業青年活動への支援(24万2,550円)
- 公共牧場の利用促進、牛の環境改善のための設備整備(675万1,470円)
- 農村景観整備のためのヒマワリ畑の設置や花壇整備費(334万6,570円)
- 牛・馬への予防接種実施(829万4,397円)
- 酪農ヘルパー利用助成(280万円)
- 体験牧場での学習経費(15万9,000円)
- 廃プラスチック適正処理助成(108万4,669円)



問い合わせ先/役場農林課農政係 ☎ 4 8 2 - 2 9 3 6 (課直通)

## 地域の役に立ちたい 社会貢献いろいろ



東星渡部建設(渡部哲夫代表取締役)と道瀝工業(橋本稔代表取締役)の皆さんが、5月19日に川湯中学校、美留和小学校、奥春別小学校のグラウンド整備を行いました。子どもたちが、けがなく元気に使ってもらいたいと毎年行っているもので、両社合わせて6人が参加。除草や転圧、傾斜の修正などを丁寧に行いました。

また同日、摩周観光文化センター野外ステージ前の転圧とソフトボール場の整備も行っています。



株今道東建設工業(今誠代表取締役)の皆さんが5月22日、川湯小学校と和琴小学校のグラウンド整備を行いました。子どもたちのためにと毎年行っているもので、7人が参加。除草作業や重機を使い、転圧、傾斜の修正などを丁寧に行いました。



クニオカ工業(株)と株今道東建設工業(ともに今誠代表取締役)との皆さんが5月14日、川湯温泉街を流れる湯川排水路の清掃を行いました。観光客を気持ちよく迎えたいと毎年行っているもので、14人が参加。約500メートルにわたって丁寧に作業を行いました。



明盛建設(尾崎幸晴代表取締役)の皆さんが4月20日、弟子屈小学校内の遊具周辺の土留め作業を行いました。校内での作業は、平成26年から8回目となり、今回は12人が参加。重機なども使用し、丁寧に作業を行いました。また、27日には、弟子屈高校のグラウンドやテニスコートの転圧も行いました。



開成建設工業(小澤由明代表取締役)の皆さんが5月12日~13日、本年3月に廃止となったJR南弟子屈駅舎を摩周観光文化センター敷地内に移設する作業を行いました。弟子屈の玄関口として町の発展に貢献した歴史ある駅舎を後世に残すためにと協力を申し出て作業を行ったものです。

今後は郷土資料の屋外展示として駅舎を活用していく予定です。